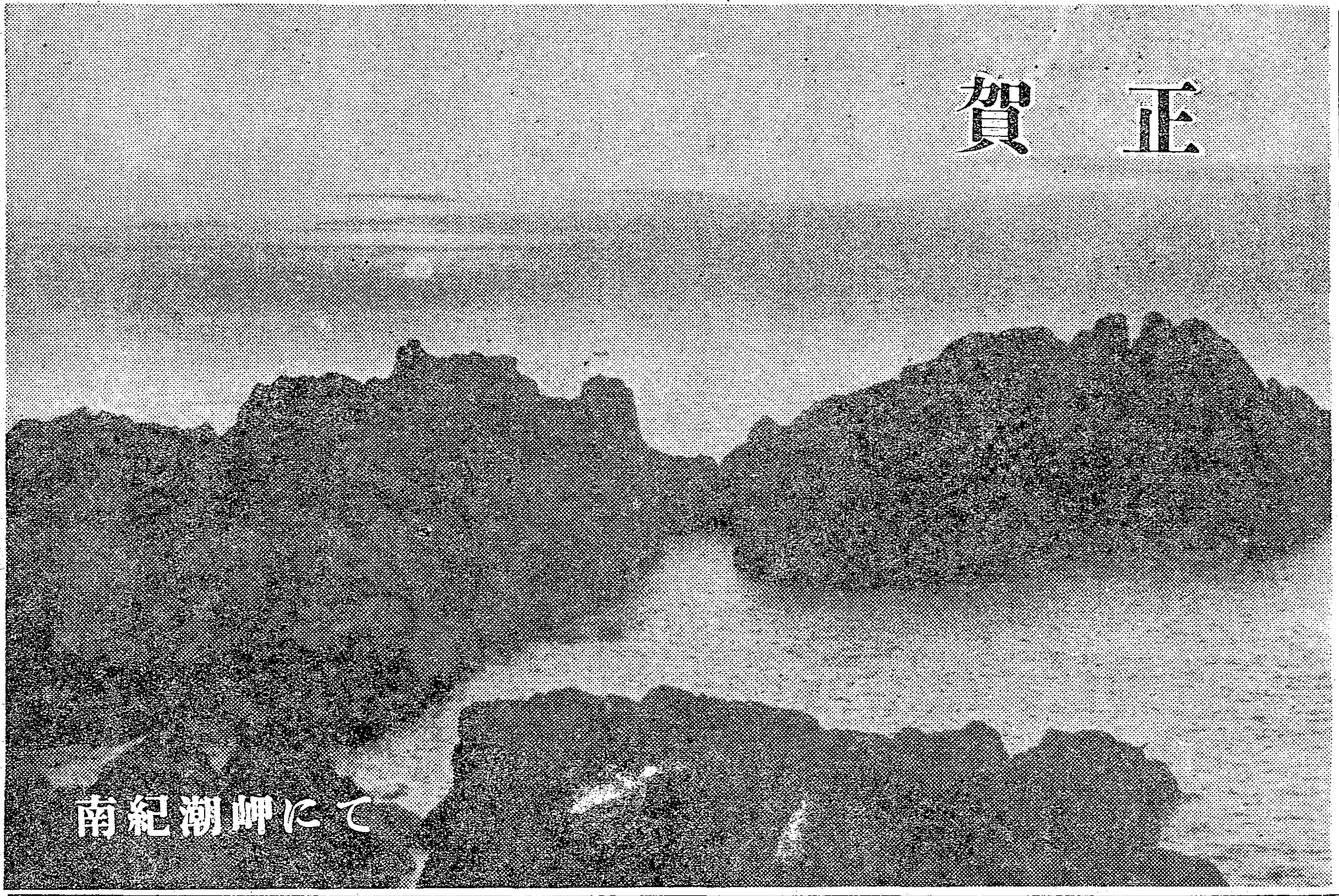
昭和23年3月24日第3種郵便物認可
昭和25年12月22日日本國有鉄道特別扱承認新聞紙第625號



南紀潮岬にて

縣民の友
発行所
和歌山市松原通一丁目
和歌山県企画広報課
編集印刷発行人 藤田定基
毎月十五日印刷発行
定価 一部2円50銭

新卒業生の雇傭に御協力を！

復興に徹する年
熊野川電源開発に曙光
小野知事新春対談

昭和二十九年は明けた。災害復旧に徹すべき艱難の歳である。小野知事は四日、県庁御用始め式を終えた直後に県青年団体連絡協議会長宮田泰弘氏の来訪を受け、知事室で対談、災害復旧、熊野川総合開発、移民問題などについて新年の抱負を次のように語った。なおこの対談はNHKで録音の上六日に放送されたものである。

宮田　明けましておめでとうございます。旧年中は色々とお世話になりました。何といっても昨年は八十年来の災害で大きな被害を受けましたが、この復旧の問題は大きな課題になっています。こうした点から知事さんに今年の抱負をお伺いしたいと思います。

治水に全力

知事　本年の県政は災害復興の一語に尽きると思います。昨年の災害復興ですが、政府の方針が三・五・二ということになっていて、二十八年度には災害復旧費総額の三割、二十九年度は五割、三十年度は二割と金を出すということになっています。しかし最初の三割も政府は充分金を出さないというんですから二年目はその分も含めてやるつもりです。従って災害対策としては今年はかなり大きな予算を組むことになると思います。そのために中央や地元との接衝で他のことは県としては顧る暇なしに復興計画に徹する考えでいきたいと思っています。

宮田　本当に多難な年だと思います。この災害復興と関連して防災ダムについてどうお考えですか。

知事　これについて専門家の説は、例えば日高川を災害時の水量から計算してみると、天龍川位の大きさにしないと災害が防げない。そこで天龍川の大きさにすると日高の平野は無くなってしまう。そんなことは出来ませんから堤防を強化する、それでなおお及ばない場合には防災ダムを作ります。目下防災ダムを計画していますが、今考えているもので三百五十戸水没するというのがありますが、こういうことでは駄目だと思いますので、小さい防災ダムを幾つか作って被害を最少限に喰止め、効果を大ならしめるということで未だ決定的な案は出来ていません。

宮田　では山の方の開発として熊野川の総合開発について。

知事　熊野川総合開発は結局電源開発です。これは三重、奈良両県との関係があって、国家的な大きな見地からすれば本県の利害は問題でありませんが、何といっても只今のところは本県の水のような感じがします。それで本県に損失を与えて開発が行われるということでは県として困るので、電源開発はしなければならないが、同時に県にも相当プラスになる立場をとるという技術的な問題で今三重奈良両県と接衝を続けているところです。おそらく一月中に審議会で決定をみ、着手の運びになると思います。この見通しは明るい方ですね。

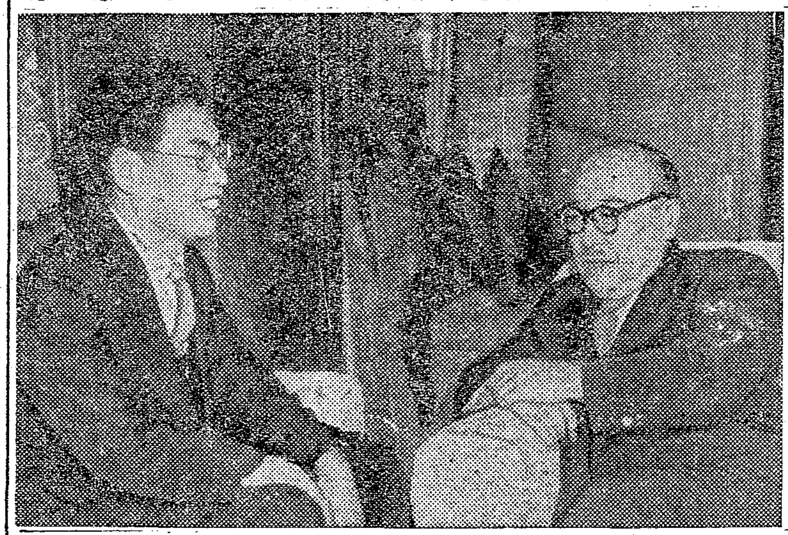
アメリカへも移民

宮田　一昨年でしたか知事さんにブラジルへお出で頂いて色々御苦心頂き、昨年第一回の移民が行われました。移民の問題については特に昨年は災害もひどく、人口問題の点もありますし、何かとお考えの事と思いますが…

知事　ブラジル移民は只今のところ明るい見通しです。ブラジルでは日本人を歓迎しています。昨年アメリカ合衆国に難民救済法というのが出来て、災害を受けた人であれば相当沢山の人の移民が認められています。アジヤで三、〇〇〇人ということですが、その中日本が、さらに本県がどれだけ確得するかは知事の腕だと思います。その他ブラジルを除く南米移民も相当見込まれると思いますので、移民の面での本年は真に明るい見通しをつけています。

動く図書館

宮田　本当にいいことを聞かせて頂きました。文化センターの問題について田辺あたりから色々な話を持ちかけている様に伺いますが、こういう点については如何なものですか。



知事　そうですね。和歌山市に図書館がありますが、市のもので県のものではないような非難をうけています。そういう意味で田辺にも図書館をという意見もありますが、結局田辺あたりの図書館として終るんじゃないかと思います。それで非難に答えるという意味で移動図書館を設け県下を巡回させようと思っています。

宮田　昨年、青年団の関係で調査しました結果、大多数の青年が利用している状況ですので是非共お願いします。図書館の話で思い出しましたが、知事さん、剣道五段とお伺いしますが、こうして拝見しますとてもいいおじいさんに思われますが、腕の程は…

知事　ちょっと困りましたな。私県剣道会の会長でしてね。有段者の免許状を私の名前で出すことになっています。その段を出す者が段を持たないのではおかしいということで五段を貰ったんですが実力はどうですか。五段の実力はないけれども相当強いとは思っています。(笑)

宮田　どうしまして。知事さんの体格では五段以上に受取れます。

知事　相撲なら相当強いんですがね。

宮田　スポーツの方はなかなか御堪能の様ですしこれは新春のトピックスですね、それではお忙しい処お伺いしましてありがとうございました。どうぞ県民の知事さんですので御健康を心からお祈りします。

滴々抄

○あけまして、お目出とうございます。

○としあけてゆるめる心うっとりと、来し方すべて忘れしごとし と歌人鶯蘭は歌っていますが、一九五四年の和歌山県は、うっとりとした気分で、来し方を忘れたごとく、のんびりと新春を迎え得ないきびしい現実に直面しています。

○災害復興！ これは血みどろのたゝかいであります。

○経済問題！ 世界経済の大きな波が日本経済を、狂乱怒涛たらしめ、ひいては我が県内の経済にもおそるべき不安定をかもしだしています。

国の予算の一兆への縮少は、県財政の上に、大きくひゞかぬわけはありません。

○漸く緒についたと考えられた社会保障の重要な面が、大きななたによって、気息えんえんたる状態におちいるであろうことも想像するにかたくありません。

これは単なる一例であって、もろもろのことに、同様の愁いを持たずに居られません。

○晴着をかざつて楽しげに遊んでいる子供たちの背後に、父は母は、どんなにやりくりの労苦にやつれたことか。

○その一枚の晴着すらない貧しい母と子が荒野にしよんぼりと立つ仮設住宅にわびしい新春を迎えている事実も随分沢山あります

○小野県政第二期の建設計画が、一朝の水魔、一夕の風魔の暴威に屈しさるべきものではありましょうか。否！否。断じて否!!

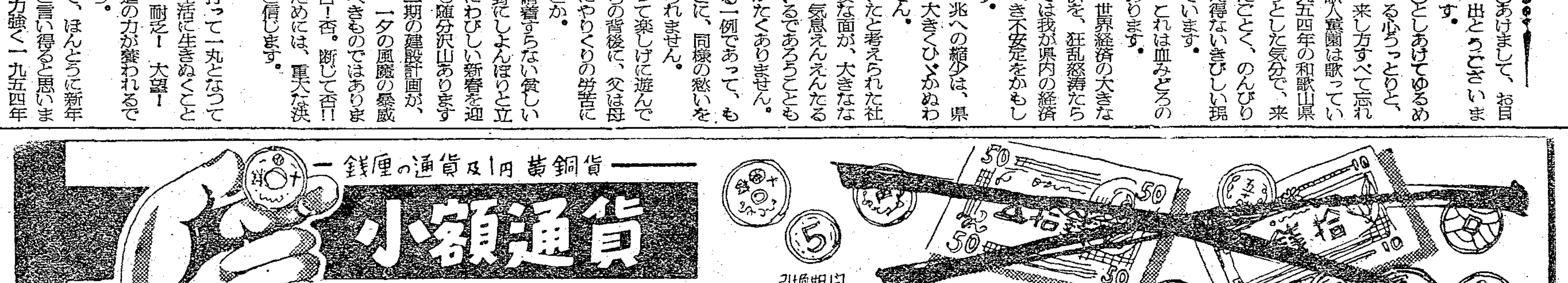
○が、それがためには、重大な決意が必要だと信じます。

何ぞや？

百万県民が打って一丸となってよく耐乏の生活に生きぬくことであります。耐乏！ 大望！

かくして前進の力が養われるでありましょう。

そこで始めて、ほんとうに新年お目出とうと言い得ると思います。では、力強く一九五四年を！　(晃)



追加予算八億九百万円
定例十二月縣議会終る

旧臘開催された定例十二月県会で追加予算として八億九百余万円が可決されたが、その内容は期末手当、公共事業等の義務的経費、及び災害復旧のための緊急に実施を要するものが大部分である。これを大別すると職員の年末手当で一億三千四百余万円、過年度災害関係で三千二百余万円、現年度災害復旧費及びその他対策費で約五億四千百万円、国庫補助事業関係で一千六百余万円、一般単独事業関係で約九千九百万円となっている。歳出の主なものは県庁費二千三百余万円、土木費四億三千百余万円、教育費一億二千四百余万円、社会及び労働施設費六千八百余万円、産業経済費七千七百余万円、財産費三千百余万円、公債費二千四百余万円となっており、これら歳出は平衡交付金一億六千二百余万円、国庫支出金三億四千九百余万円、雑収入四千二百余万円、県債二億三千九百万円等の歳入で賄われることになっている。これで本年度の現計予算は総額二百二十億六百八十三万円という県政史上最高額を記録した。なお、会期中の主な動きは左のとおりである。

十二月十五日＝

十二月定例県議会は、午後一時二十分平越議長開会を宣言、会議に先立ち去る十月八日全国議長会より表彰された永年勤続者県議会議員内田安吉（二十余年）議会事務局長筒井徳三郎（十八年）議会職員白石新次郎（三十三年）に対し表彰状の伝達式を挙行、小野知事の祝辞、内田議員の謝辞があった後笹野議員より日高郡大田橋の落橋原因と復旧についての緊急質問があり、引続き議案を上程、知事の議案説明を受け午後二時二十六分散会。

十六、十七日は議案審査のため休会。

十八日＝県当局に対する一般質問に入り、岡本長議員（社会ク）紀ノ川改修、県職員の綱紀粛正等竹中議員（社会ク）薬工品検査条例の廃止、天田橋の落橋問題等、丸山議員（新政ク）水災害農地復旧資金、農業技術陣の強化等、與崎議員（社会ク）道路交通と観光政策、教育の中立性等、下西議員（政和ク）税制改革と税収入、教組専従職員問題に関する教委当局の責任等。

的場（社会ク）工業用水の資源、城北共同住宅使用料値上げ問題等

十九日＝中谷（新政ク）町村営農地関係工事に対する県の態度、災害農家の再起対策等、峯畑議員（新政ク）短波無電設備、小学校教科書の内容について等、裏辻議員（社会ク）御霊病院職員に対する危険手当、工業用水と飲料水について等、津田（社会ク）教職員給与条例、県信用保証協会について等、和田（新政ク）水産振興に対する問題等。

二十一日＝岡崎議員（政和ク）来年度予算編成方針と行政整理、町村合併問題等、山下議員（新政ク）工場誘致の問題、中小企業金融対策等、中西議員（新政ク）町村保健婦の身分、淡水漁業の振興等、窪田議員（政和ク）中小企業振興対策、県営プール建設について等、西川議員（政和ク）災害地公営住宅、家屋共済保険等、島本議員（新政ク）災害土木復旧に対する起債について、復旧遅れ耕地ならびに堤防復旧について等、以上の質問に対し知事および関係部課長より答弁あり、次いで今議会上程の三十七議案、知事専決処分など請願五十六件を各委員会に付託して午後六時五十八分散会。

二十二日＝農地、文教、衛生、経済、土木各委員会開催

二十三日＝総務、農林、民生各委員会開催、

二十四日＝午前十一時より第一会議室にて全員協議会を開催、県及び教職員の年末手当の問題について協議、午後三時頃に至り、一・二五月分支給する事に意見の一致を見た、

午後十時三十五分本会議再開、各委員会に付託された議案及び請願書について各委員長から経過報告の後、八億九百七十五万五千五百円の追加予算と四億二千八百三万四百円の知事専決処分は原案通り可決、県条例の中議案第百二十九号和歌山県使用料及び手数料条例の一部を改正する条例即ち県営城北共同住宅の使用料金値上げの条例は否決、議案第百四十六号教育職員の給与等に関する条例は一部を修正し、町村合併促進審議会条例、県税条例の一部を改正する条例等十四条例、県営工業用水道施設の設置について等合計三十五議案を原案通り可決した。

引続き「家畜保健衛生所法の廃止反対について」竹中議員提出、「保健婦の身分の一元化について」窪田議員外十一名提出、「僻地教育振興について」田中（大）議員外十一名提出、「公務死亡の範囲拡大について」得津議員外十二名提出の四意見書は夫々全員一致で可決、中央関係官庁に提出した。

次に町村合併促進審議会委員に議会より平越議長、岡本副議長、内田議員、坂議員、松本議員を指名推薦し午後十一時二十二分閉会した。

新春を迎えて
縣議会議長　平越孝一

新年おめでとうございます。謹んで心よりお慶びを申し上げます。

顧みますれば昭和二十八年は本県におきましては洵に厄年でありました。六月上旬の水害より十三号台風まで僅か四ヵ月の間に前後五回の天災を蒙りました。殊に七・一八水害と十三号台風は普が百万県民をして放心、虚脱の状態に落し入れたのでありました。この大災害こそは敗戦後九ヵ年の歳月を経ずして、あの「八月十五日」の陛下の悲愁な終戦のお言葉を忘れ、自由と安逸をあさり、舶来ものを求めて外貨を喰いつぶして身分不相応な放逸な生活を送った一部国民に対する天の試練でなくて何んであろう？　こゝに思いをいたす時転た感慨に堪えません。本年こそ一層覚悟を新たにし一意専心復旧に努力いたしたいと思います。

然しながら県財政の実状を考えまするに誠に寒心にたえない状態であり、年々県歳入の約七割は国庫に依存せねばならぬ状況でありまして今度のような大災害がありますと当然税収入の削減はもとよりあらゆる歳入面におきましても欠陥を来たし、たゞ出費のみは膨脹いたし益々財政は逼迫して復旧を阻害する結果を招来するのでありますが、こゝにおいて為政者として考えなければならないことは出来得る限りの経費節減をなし最大限の国庫支出金を獲得するようあらゆる運動と方策を講ずるとともに、第一義的に災害復旧に全力を傾注して以って地方産業の振興を図り民生安定のため心身を賭して努力するのは務めであり邁進する覚悟であります。

昔から岩の上にも三年と言う言葉がありますが、三は変化数と申しまして変化の多いことゝされています。今年は独立後三度目の新年でありますから昭和二十九年こそ好転する年であることを確信いたしますが、国民は一致協力してこの難局を突破し熱と力を結集してよりよく好転せしむべく努力せねばなりません。各人は各々の職場にあって忠実勤勉に全智全力を捧げ百万県民打って一丸となって一大躍進を期すべく皆様の御協力をお願い申し上げ迎春の言葉といたします。

利子保証料保険料を補給
被災中小企業者に

目的

昭和二十八年、和歌山県をおそった七月大水害と九月下旬の台風第十三号によって県下のあらゆる産業は極めて大きな損害をうけました。その被害の復旧のためには県下の中小企業にとって非常にたくさんの資金が必要となりますので、県としては国庫余裕金の金融機関への預託、災害融資に対する損失補償などによって、金融機関の資金がより多く被災中小商工業者に貸し出されるよう努力してきましたが、さらに、被災者の負担を軽くするとともに金融機関の災害融資がより円滑となり、もって事業の復旧再建が一日も早くできるよう、利子、保証料および保険料を補給することとなりました。

これらの補給については、災害直後、県としてこれを実施する態度が決りましたが、国における法的措置の関係でその実施が遅れていたのであります。新春に入っていよいよこれを実施することとなり、目下金融機関との間に契約の締結を取り進め中であり、来る三月には、第一回の補給金が出されることとなりました。

利子補給

利子補給は、金融機関から貸し出される災害復旧資金の金利を一般の金利よりも安くしようとするもので、その安くしようとする金利は、県が借りた人に代って、金融機関に支払うのです。すなわち、銀行、相互銀行信用金庫、商工中金などから昭和二十九年三月三十一日までに一人一件二十万円（七月水害と九月台風の両方の被害をうけた場合は二十五万円）以内協同組合については百万円（両方の被害の場合は百三十万円）以内で期間六月以上三年以内の災害復旧資金を借り受けるときは、通常の利率よりも年五分だけ低い利率で借りられることになります。このように低い利率で融資してもらえる人には、県から確認書をお送りすることとなりますが、すでに通常の利率で借りている場合は、年五分に相当する金額だけ金融機関から一定の時期に払い戻されます。

保証料補給

中小企業者の信用力、担保力の不足を補って中小企業融資が円滑に行われるようにするため信用保証協会が金融機関からの資金借入による債務を保証する制度がありますが、この場合には、信用保証協会に保証料を払い込まなければなりません。ところが昭和二十九年三月三十一日までに、一件百万円（協同組合については二百万円）以内であって、運転資金については一年以内、設備資金については二年以内の期間で災害融資についての保証を受けるときは、借りた人から保証料をとらないで、県が借りた人に代って協会にその保証料を支払うことになっています。保証料を補給することとなる保証については県から確認書をお送りいたしますが、確認の通知をされた人は、和歌山県信用保証協会に保証料を払込む必要がないわけです。既に協会に保証料を支払った人には、一定の時期に協会から相当額を払い戻されます。

保険料補給

金融機関が中小企業融資を行う場合、万一の事故に備え、政府に保険料を支払って政府の中小企業信用保険に加入することがあります。信用保証協会が保証する場合にも同じように信用保険を付けることができますが、金融機関または協会が、災害に伴う融資またはその保証を信用保険に付した場合には、政府に対して納付する保険料の半額は県が負担することとなっています。普通の場合は、保険料の何割かは借入人に負担させている金融機関があると思いますが、このような場合には、県から確認書の送付があれば、借入人の負担も半減されることとなります。

手続その他

被災者がこれらの補給をうけるについては、金融機関または信用保証協会に対して、市町村役場で発行する罹災証明書を提出しなければなりません。また利子補給の場合は、さらに「補給をうける借入金が二十万円（協同組合については百万円）以下である」旨の宣誓書を提出する必要がありますその他、くわしいことについては、県商工課、金融機関、信用保証協会などでおたずね下さい

各種試験の手引

県では十七日一般行政職員の採用試験を行うが、近く左の要領で農業関係では農業講習所講習生及び別科生の募集、農業改良普及員の資格試験、衛生関係では高等看護学院で看護学部保健学部の学生を又、公共職業補導所では補導生を広く一般から募集することになった。

農業講習所 講習生

募集人員　農業科、果樹園芸科各二十人。

出願の方法　農業講習所備えつけの入所願書に戸籍抄本、最終出身学校の学業証明書、写真（半身脱帽手札型最近三ケ月以内に撮影した顔の長さ三糎以上のもの）に試験料二百円を添え、和歌山市太田県農業講習所に申込めばよい。

入所試験　学科試験（生物、国語）は三月十日、面接及び体格検査は三月十一日に前記講習所及び東牟婁郡下里町の農業講習所紀南分場で行われることになっている

入所資格及び修業年限　新制高等学校又はこれに準ずる教育機関を卒業した者、旧制中学校（乙種農学校を含む）卒業後一ケ年以上農業に関する試験研究教育実務又は普及事業に従事した者で修業年限は一ヵ年。

農業講習所 別科生

本県在住者で現在主として農業により生計を樹てている人の長男、または将来農業により生計を樹てようとする者で新制中学卒業者から三十五人募集するもので、試験は作文、面接および身体検査について四月八日行われることになっている。受験希望者は入所願書（農業講習所備え付のものを使用）に戸籍抄本、最終出身学校の卒業証明書に試験料百円を添え農業講習所宛申込めばよい。

高等看護学院

看護学部　募集人員は二十名、修業年限は三ケ年（内約一年半は県立医大病院で実習）で、応募資格は高等学校卒業者又は今春三月卒業見込者、試験は数学（一般数学幾何解析一の中から一科目選択）理科（生物、化学より一科目選択）国語の三科目。について三月十日に行われる。願書は目下受付中で締切りは三月五日。

保健学部　募集人員は二十名、修業年限は八ケ月（内二ケ月は保健所で実習）で、応募資格は看護婦免許を有する者、看護婦養成所卒業者、願書の受付は看護学部と同じで試験は十日、十一日に行う。

なお詳細については左記へ御照会下さい。

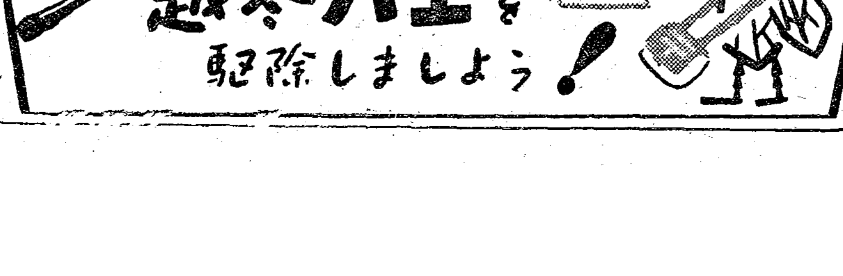
和歌山市徒町（電話五五七七）
和歌山県立高等看護学院

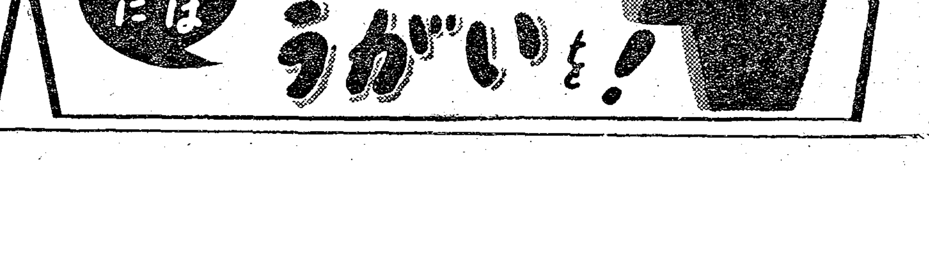
公共職業補導所

和歌山総合公共職業補導所では建築、木工、理容関係各三十五名機械、洋裁各五十名の補導生を、海南漆芸公共職業補導所では四十名の補導生を募集中です。補導期間は一ケ年で、義務教育修了された方なら年令に制限なく応募出来ます。入所を希望される方は三月十日までに（但し漆芸は三月末まで）最寄りの公共職業安定所に申込み下さい。

知事御用始式で
綱紀粛正を訓示

県の御用始め式は四日午前十時県議会場で行われ知事は、災害に明け暮れした昨年の庁員の労をねぎらうと共に本年は復旧に奔馬の勢で邁進すべき年である旨を強調そのために新年度は予算も膨大にならざるを得ないが事務処理には慎重を期し九切の功を一簣にかくことのないよう厳正な服務を庁員に要望した。





余剰人口の完全雇傭へ
工場誘致審議会の動き活発

近年、工場誘致ということが、各府県において流行の合言葉のように叫ばれていますが、これはただ誘致熱にあおられての誘致運動であってはならず、理論的な現実に即してのことでなければなりません。

即ち、先ずわが国の立場から言って「健康な文化国家」として国際社会に生きて行くためには、確固たる基礎の確立こそ最も重要であり、年間二百数十万トンに及ぶ食糧の輸入によって、尨大な人口を養っている日本経済の現実を思うとき、こうした日本の将来に国家経済的安定性を確保がすることが極めて重大であります。そのためには自給自足への増産計画ももちろん大きな課題であることに相違ありませんが、一方将来の国際貿易に躍進出来るような重化学工業の振興も、この解決の緊要なしかも効率的な鍵であることを忘れてはなりません。むしろ日本経済の将来の運命を思えば、この重化学工業の振興方策を国民の叡智を集めて樹立することが国地方を通じて国民に課せられた経済上の使命であるといっても過言ではないと思います。

この日本経済が農業で立つべきか、工業でたつべきかの問題は、国の経済のより深刻な縮図で、本県についてもそのままいえることです。即ち、本県としても県民の半数を占めるのは農林水産等第一次産業の人口であり、この農山漁村の振興対策を一刻もゆるがせに出来ないことはもちろんであります。然し乍ら将来のよりよき県民所得の拡充のためには工鉱業第二次産業の興隆をはからなければなりません。このことは現実規模よりみて既に数万の余剰人口があるといわれる本県農山漁村人口の完全雇傭より考えても、その必要性が痛感されます。さて第二次産業を如何にして興隆するかについては、地方産業の振興はもとより大切なことですが、何といっても大工場を県内に数多く持つことが必要なことはいうまでもありません。ここに本県としても工場誘致の必要性の痛感されるゆえんがあるので自然的産業的社会的により多き関連的利益をもたらすべき企業の誘致に努力している理由があるのであります。

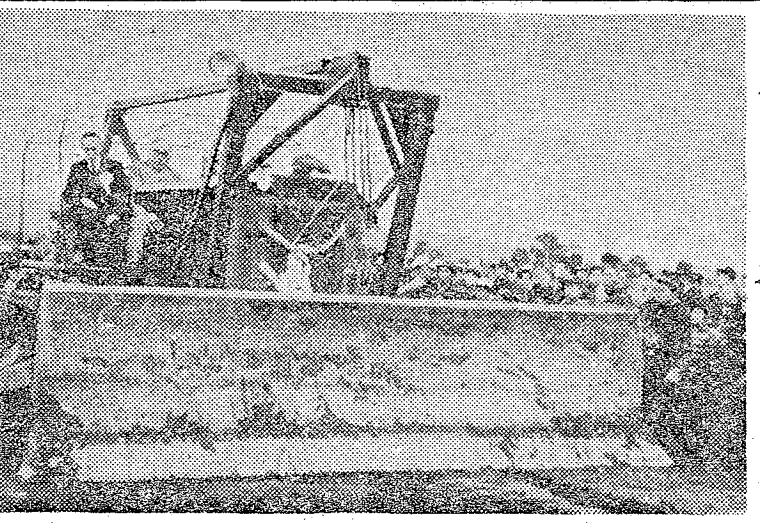
柑橘・木材・石灰石等 特産物の利用へ

差し当っての誘致運動として、本県の特殊な資源や産物、例えば由良地方の石灰岩や、紀南一帯の豊富な木材資源更には古来有名柑橘類等の利用、セメント、パルプ農産加工等が最も適当なものと考えられるのでこの種の工場誘致に目下のところ種々努力中であります。更に経済面よりする工鉱業推進の方策として、二十七年九月工場設置奨励条例を設け、本県に稗益する工場建設及び増設等の場合これに対して積極的に便宜を供与し、且つ奨励金を交付する等の措置を考慮すると共に昨年六月には三十余ケ所の工場敷地を選定し、これに種々説明を加えて「工場適地の紹介」なる冊物を刊行し広く各界に送付して工場立地の参考に供し、企業者の関心を呼ぶことに努力しています。

然し工場誘致の基本的要件は何といっても立地条件の土木、経済社会面よりする整備、特に絶好な工場敷地を基礎とする工業用水、電力、港湾等の拡充にあるので、これには土木関係とも連繋してその充実をはかることに懸命の努力をしているわけですが、何分本県の自然条件が工場立地の観点よりみて決して良好とは言えない現況なので、そこに多分の困難性があることはいなめない事実であります。

誘致へ活!! 和歌山海南両市の工業用水港湾計画 軌道にのる

最近、工鉱業地帯整備計画の一つとして和歌山、海南一帯の工業用水と港湾計画が漸く軌道にのる見通しがついたことは、紀北方面の工場誘致と工業振興上極めて喜ばしいことであります。また包蔵四〇万キロワットとも言われる熊野川電源開発が三重、奈良両県との意見一致により、先ず大瀬、風屋の二つの開発地点から三県共同で推進出来るようになったこと、さらに古座川佐田、日置川殿山の発電計画も近く着工される運びになったこと等は本県の電力増強に大きな希望の光を点ずるものであって全県下の工鉱業振興上特に重大な意味を持つのです。そしてこの実現の暁は紀南地方に大工業地帯が建設されることも決して夢でなくかくて本県工業の将来は明るい前途が約束されているわけです。



耕地復旧工事 いよいよ着手

県では貴志川流域二五二町歩、有田川流域六七三町歩、日高川筋二四三町歩の耕地災害復旧工事に着手することになり、起工式を旧臘二十日貴志川筋は中貴志村中貴志中学校で、有田川筋は二十五日田殿村吉備小学校で、日高川筋は二十七日矢田村大成中学校でそれぞれ挙行した。当日は小野知事、地元出身代議士、県会議員および関係地方事務所長元町村長が現地に赴き工事関係者を督励し、知事は関係町村ごとに鍬入式を行いブルドーザーに乗込み復旧へのスタートを切った。工事は本年の植付けに間に合うよう完成が予定されているがその暁は、区画整理の完成に伴い耕作労力の節約、潅漑用水の合理的分配が出来るようになり排水綱の完備により低湿田地帯の二毛作田化、農業経営の合理化と農村労力の再配分により農家経済の安定に大きな貢献をもたらすものと思われる。

なお工費は、貴志川筋六億三千万円、有田川筋十六億円、日高川筋は七億六千万円である。

来るかインフルエンザ

昭和初年のころ流行歌手今は故人の二村貞一の「レコード」流行歌にそのころの流行語「モダン」にちなんだ「モダン」節なる歌謡があった

その歌詞に

可愛い「マネキン」風邪引心地
恋の夜風が「オランダ」風がものも言えない人形のつらさ
くしやみ一つで
おっと　危い　首がとぶ

そのころ大正七、八年に次いで「インフルエンザ」の小流行があり発祥地の「オランダ」にちなんで「オランダ」風なる流感の流行したことが考えられる。昭和二十八年一月の中旬から下旬にかけて全国的大流行を来したインフルエンザの発祥地は「アメリカ」からといい、また逆に日本からではなかろうかという人もある。罹患者総数は驚くなかれ五〇〇万人、その中一一〇万人が小、中、高等学校の学生生徒である。そのために学校の臨時休校のやむなきにいたったもの全国で二八三校に及んでいる。

原因は御存知のヴァイラス（濾過性病原体）でAプライム型であった、死亡率は東京では約二%位であった。

症状

突然の悪寒戦りつ（さむけ、みぶるい）について高い熱（三九度乃至四〇度）が出る。全身倦怠、頭痛、腰痛、関節痛等のひどい「ロイマチス」型は大人に多い。嘔気、嘔吐、下痢を伴う胃腸炎型は病弱者老人子供に多く幼若者は肺炎を起す危険が大いにある。熱は三日位続き一回下って又高くなる形が多いので此の時に充分注意が必要である。大抵は一週間位で癒るのが多い。

予防

「せき」の出る人は「マスク」を「くしやみ」の出る人は直接人にかゝらないやう注意する。人混みの中風の強い日の外出は「マスク」を着用し帰宅後「ウガイ」等の心掛けが大事。

予防注射は接種後一〇―十四日しないと効果が現われないから流行期前に結核の人、老人、幼若者は予防注射を進んでうけるべきである。

治療

早期に保温就床し安静をとり、暖かい食物を摂る様心掛け早期に医師の診療を受けて早く癒し、他人にうつらないようにするのが公衆衛生の「エチケット」と考える。

エコー

住所氏名職業明記匿名は採用せず▲建設的な意見▲県企画広報課宛

迷信的方位について

住みよいわが家と言えば第一に台所の改善に集中されています。女は一生を通じて半分は台所で暮らすといわれ、明るい便利な台所を女性は常に望んでいます。この台所の改善を拒むものは、第一に旧暦による迷信的方位で、金神だとか鬼門だとか三年ふさがり等、この方位にかまど、流し、井戸、風呂等を作ると病気になるとか、不幸が続くとかいって、年寄りはなかなかやかましく、狭い宅地の中でこれらの悪い方位を避けて思うように便利な明るい台所の改善をする事はとても出来ません。私たち女性はこのような迷信的方位というものが根も葉もないものであることを、一般県民の方がよく納得できるよう、紙上を通じて示して頂きたいと思いますので、右の事柄について正しい御意見をお聞かせ下さい。

問一　鬼門、金神、三年ふさがり等果して恐るべき悪神であるか

問二　この方位へ建物、台所用置物等を建てると神のたたりがあるかどうか。

問三　もしこれが根拠の無いものとすれば、旧暦こよみの中からこの迷信的記事の一切を削除する事は出来ないものでしょうか。

（日高・龍神村・雑貨商・古久保ユリエ）

お答え　迷信的方位についてお答え致します。

鬼門については、建築界の伊東忠太先生の説によりますと、昔の支那の長安や洛陽では冬に東北の寒風が吹きすさんだし、又漢民族の大敵であるフンヌがこの方角にいたから、東北の方向が鬼門になったのだといわれており、我国でも昔は、占師がその土地の何事にも干渉し実権をもっていたため、それを信じ切って現在に至っているためでもあります。なお、科学的に考えてみても、東南隅（表鬼門といわれている）は一日中最も陽当りが悪く、また西南隅（裏鬼門）は春夏秋冬共最も強い光りが当るため、昔ながらの古い建物には窓が少く、通風換気が完全でなかったので、この方位に台所、便所を持って来ることが好ましくなかったのですが、通風、採光、換気を完全にすればそのような心配は解消されます。金神、三年ふさがり等については古来支那の占師が忌み嫌ったという他に深い根拠はありません。また、旧暦こよみの迷信的記事の削除ということは、なかなか至難なことです。というのは、暦は易者の作る職業的なもので、これを抹殺するためには一般世論によって解決しなければならず、また個々にわたっての自覚の如何によっても因習の打破が出来るものと信じます

（農業改良課）

成人体力健康検査 優秀者を表彰

昭和二十八年は、七月十八日の大水害に次ぐ、第十三号台風の来襲により、おそらく本検査の実施は不可能な市町村が数多く出るのではなるのではないかと案じられたのであるが、各関係者の非常に熱心な指導と、受験者等の理解により、男子六五三七名、女子六九五一名の受験該当者の中八二・四%が受験するという、ほゞ昨年に近い（昨年は八三・一%）受験成績を収めることが出来た　。

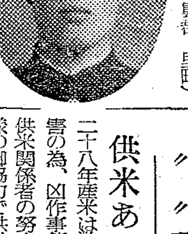
「健康検査」

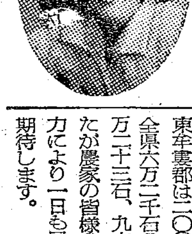
先づ、本年の受検者の体位について見ると、男子は最近の全国青年（同年令層）の平均体位より優れているが、戦前のそれより稍々劣り、女子は大体戦前戦後の別なく全国の平均体位並みではないかと思われる。

「体力検査」

体力検査は現在のところ、全国的な資料がないため、これを比較することが出来ないが、本年度の各級の合格者の受検者に対する比率は、初級三三・四%（昨年三五・三%）、中級一〇・七%（昨年一〇・五%）、上級三・五%（昨年三・四%）となっている。

「成人の日」に表彰をうけた優秀成人と団体





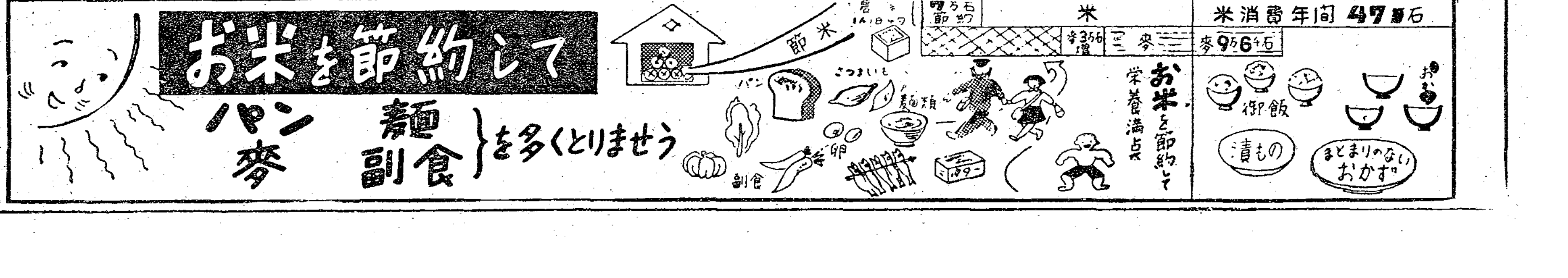
（男子）
畑下　昂（東牟婁郡下里町）
石川　秀人（西牟婁郡江住村）
前田　忠昭（伊都郡大谷村）
稲田　辰男（西牟婁郡田並村）
岡田　續（西牟婁郡上芳養村）

（女子）
鈴木　文子（田辺市　秋津町）
塩山　節子（伊都郡　信太村）
塩崎　吉美（日高郡　和田村）
山中　節子（日高郡　稲原村）
田浦　翠（那賀郡　小倉村）

（団体）
有田郡八幡村
〃　〃　教育委員会
〃　〃　青年団

供米あと一歩

二十八年産米は数次に亘る大風水害の為、凶作事態にもかかわらず供米関係者の努力と生産農家の皆様の御協力で供米は順調に進み、十日現在で確保目標数量に対し海南市三四〇石、田辺市七七〇石、日高郡七九一三石、西牟婁郡二〇六五石で夫々完遂、新宮市は一一五石、那賀郡は一九、四七二石、伊都郡は四〇九六石、有田郡は一五九六石東牟婁郡は二〇〇石となっており全県六万二千石の供米量に対し六万二十三石、九六%を確保しましたが農家の皆様のなお一層の御協力により一日も早く完遂するよう期待します。



初春に想う

新年の感想

森慶三

昨年は内外ともに多事の年だった。しかも何一つとして根本的な解決を見ずに本年に持ち越されている。政治経済外交は勿論其根底たる思想の問題もみな混沌として日本は岐路に立ったまゝ本年を迎えた。

東洋を見れば朝鮮の南北両軍は休戦をしたが未だに政治協定が成立せず東南アジヤの戦雲は収まらずイラン、イラク、エジプト及びパキスタンに起った事件から、せめて長年月西洋から虐めつけられたアジヤの興隆の曙光を認めたいと思うがそれも覚束ない。

アメリカは新孤立主義は昂頭して軍備に再検討を加え財政の均衡と減税に向い農産物価額の低下は景気の後退を思わしめ、これが自由主義の国々に及ぼす影響は大なりと考えられる。

かかる情勢下第二次世界大戦後大なる希望と燦然たる脚光を浴びて登場した国際機構はよい点もあるが、稍々動脈硬化に陥り一つの国際展覧会化せんとしている。

日本を見ると日米協定の実施として、アメリカは軍備を迫るし、ある政党は憲法の手前何んとかごまかして通ろうとする、他の政党はそれはならぬと反対する。進歩的党派や学者は保守的党派や学者を攻撃して愉快そうだ。しかし私は今日の国難を思うとそんな気持にもなれない。引き続く風水害や冷害で米の収獲は平年の二割減であるのに、与党野党保守も進歩も調子を揃えてこれ等所属の代議士や地方有力者等は選挙区への功名の機会と考えたり、損害を誇張して予算の膨大が物価の騰貴を来たしインフレとなり国民生活が困却することなど考えず政府に迫っている。尚その上に経営者という連中は、他国民の流血によって得られた特需景気に未練を持ってMSAに随喜の涙を流したり、国民の租税の分取りに専念している。と思えば、一方労働者は労働者で盛んにストライキをやり自分の賃金さえ上がれば、日本は破産しはすまいかなど考えない。気負い立つ役所の役人さんや学校の先生までがこれにならって日本がどうなるか日本をどうするのかを忘れて乱舞している。私は階級闘争一点張で行く社会主義や共産党が世界の平和と幸福とを確約するものとは信じられぬ。

以上の問題がそのまゝ本年に引継れた憂愁と苦悩との連続である。ではどうすればこの苦悩と憂愁から脱せられるかと尋ねられたら私は卒直にいって恥しい話であるが何れの道を通らんとしても呉越同舟になりがちなほど思想が混沌としており身を挺して何にもやる気になれない。また世界情勢がこれ程大きな圧力で我国にのしかゝって来て居り、国内の実情も収拾し難い混乱の現状では、無力な私など何事もできそうにない。只幸にスポーツの面から青少年に近づきがあるスポーツを通じて若い人と共に歩みつゝ少しでも日本の為めになりたいと考えている。昭和二十年八月の降伏後、色々の委員会が制定された時私は委員に選ばれたが悉く辞退した、只労働委員（今の公益委員）と県体育協会長を引受けた。それは労働問題とスポーツの問題は世界共通の問題で、この問題の解決が日本が世界に認められる一番手近の問題と考えたからだ。其後私は追放者となり一年で労働委員をやめたが体協には引続き関係している。果して私が念願したように日本が独立以前に国際労働協会と国際オリンピックと単独で加盟が許された、今日の日本を救うには青少年の教育を措いてほかに途がないのではないか。善きにつけ悪しきにつけ青少年の力ほど恐ろしいものはない。ヒトラーは特に青少年教育に力を入れ第一次大戦に直接参加しなかった青少年層にナチス精神を鼓吹し、ドイツ民族解放の名で第二次戦争に駆りたてた。ソ連が共産主義精神を青少年に鼓吹する為めにとられた強力な方法は教育であった。戦前の日本国民の指導精神もまたそうであった。教育が間違った政治の手段とさるゝとき恐るべき害悪が引き起される。教育は政治の手段でなく政治を正しく導く権威を持つべきだとはいえ国内国外の政治の急迫、しかもその真相とも思えない事柄の影響が教育本来の趣旨を徹底せしむるに困難なることにする場合が多い。私はかかる困難に対し風当りの少いスポーツの面から青少年の教育に尽したいと思う。わが国のスポーツの国際的地位が確立したわれわれは、スポーツを平和の殿堂とし文化の建造物として守り抜くことによって幾分でも力を致したいそれは外国の平和と民主化を吸収すると同時にわれわれ自身の中から引出し引き伸してゆくことに精進したい。スポーツはよい根城である。

私は齢已に七十二歳、むやみにせわしい今日の日本に生きている私に青少年諸君も同情していたゞきたい。

堅忍の心淋しく故郷の
朝な夕なを鶏に餌をやる

（県体育協会長）

花と役人

官僚という種族は、民主の嵐に吹かれて今はちり〴〵となってしまった。もっとも昔恋しさにチャンスがあったらもう一ぺん頭をあげたいと思っている官僚の残党は居ないでもない。出来る事なら滅亡の命運のままにして貰いたい。

官僚というものには、随分きらわれいやがられるに値する輩が少くなかったが、案外に子供めいた事をやって独りで悦に入るようなのもいたようだ。

この可憐な童心の現われが即ち花を好むこととなって珍演出を見せたのである。

花を愛すと言うも菊を養い蘭を娯しむ逸興でなく、胸に造花のでかいのをつけたがることである。

天下に蛮勇をもって鳴ったYという男が本県警察部長になった。その直後、職に殉じたN警部補の県葬をやった。その部長式場に臨んで開式五分前「わがはいの胸につける花は知事より大きいのでないといかん」と頑張った。もろもろの警視、警部さん方は面喰って百方電話して大きな造花を探すが何分時間がなく間に合わぬ。さればとて胸の花が大きくない以上断じて式場に出ないというのだから当惑をきわめた。わがはいが持ち前の智恵を貸して部長の御機嫌は即座になおった。それは市内某新聞社から寄贈の花輪の中から特大の白ばら一輪をもいでピンを取りつけただけの話である。

何ぞ知らん、知事のは中くらいの大きさながら絹製で、部長のは何しろ葬儀屋賃貸用の花輪についたものだからお粗末極まった寒冷紗製である。何でも彼でも大きくさえあればその質を問わぬところに、官僚根性の露呈を見せたのである。

まだ〳〵例はたくさんある。

昭和十七年ごろ、防空演習という今から思うと全く子供の遊戯に似たさわぎが始まった。灯火管制とかいって町中の灯を消させて、やかましく取締った。その状況を視察するというので、自動車を連ねて出かける部長連中が、めいめい葬儀屋のではないが、かなり大きな白ばらに何々部長てな事を墨書した短冊をつけたのを胸にして、威風堂々と押し出したのはよかったが、行く事いくばくもない街角で、いわゆる在郷軍人なる人々の大喝を喰って折角のホコリも、ほこりまみれになった。何しろヘッドライトをつけ放してルームランプまでつけていたのだ。こいつはおこるのが当り前である。この白ばらを演習の間、朝から晩までつけ放していた。わがはいは防空演習は遊戯でないことを知っていた―それ程賢明であった―から、この状況に憤りを覚えたので背中に「部長にあらず」と大書したポスターを縛りつけて庁内を横行してやった。

Tという部長はこれを見て「あの男は精神に異状を来しとる免職にせえ」と言った。気狂いは一体どちらの方が、知事に直接質問に出かけたら部長共の診断には一言もふれずただ「君は狂人ぢやない君のは熱心なのだ」と変な返答をした。

花は死ぬ稍前にかざるべく、生前胸にかざるは独り悪趣味だけでなく、官僚の特権根性のあらわれにちがいない。今この風の絶えたのは大いによろしい。（県選挙管理委員）

新春所感

年頭の二日午後、皇居二重橋前に起った未曾有の惨事は、正月早々の出来事であった事と、特に皇居参賀のために起ったというだけに一段と我々国民の心を驚かすものがあった。何しろ思いもかけぬ四十万に近い大群集が押し寄せもみ合ったというのだから恐ろしい光景であったにちがいない。

私はその日の夕刻ラジオでこれを聞いた途端急に眼の前が暗くなった思いがした。と同時に、これが、いやこれこそ現在における日本の国情の縮図だと直感した。

場所は丸の内や霞ケ関に囲まれたあの凡そ現在の国力と滑稽な程釣合のとれぬ高層ビルを背景にした二重橋前、またその混乱ぶりと来たら全くの無秩序無統制、衝動と欲望以外他人も社会も礼儀もエチケットも何も無い。只有るのは無数の群集と腕力と己れだけ生きんとする欲望だけ。それだけに此処で押し潰され踏みつけられ非業の災厄を受けられたのは、か弱い善良な人々であったにちがいあるまい。

だが、よく考えてみると、こんな事は断じて珍らしいことでも何でもない筈で、日常我々の眼前にザラにイヤという程見せつけられている事柄なのだ。電車汽車の乗場、四辻の歩行、切符の売場、さては議場で、法廷で、学校会社官公庁で、大小の差こそあれ全く同じ敗戦国図絵が数限りなく展示されているではないか。

国土の四割六分を失い資源は根こそぎ削り去られ、僅かに残った三十六万平方粁の窮屈な島々に今八千七百万もの国民が押すな〳〵住み込んで　食糧さえ自給出来ぬというのが現在の日本。而も年々百二十万毎年京都市に相当する人口が殖えて行くという物凄い増加率だからたまらぬ。

併しこゝに我々日本人の宿命が潜んでいる。今後は泣いても喚いてもこの人口がこの領土内で暮して行かなければならないのだ。ナマやさしい考えや働きぶりでは食って行けないことは明白だ。

そこへ持って来て国家民族意識の喪失、道義観念の頽廃が折り重なって亡国我利患者の氾濫と来ているので誠に以って始末がわるい。

これらの国情が縮約され正月早早日本人の前に展示されたのが、何だか今回の二重橋事件のようにも考えられる。

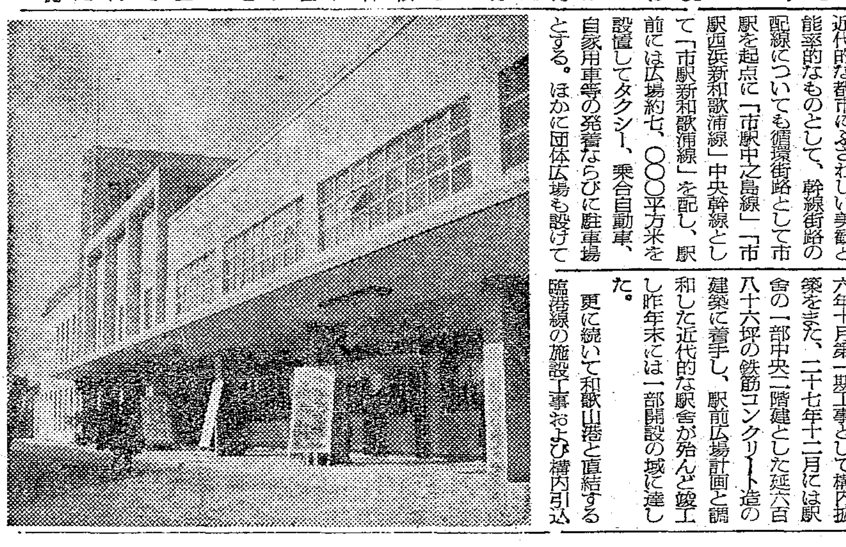
今年はこれまでのようなダラシのない事では相成らぬ。こゝらで一つ活眼を開き、大所高所から物事を判断し、民族発展のため将又全人類の福祉増進のため奮起せよとの啓示であり警告であったと考えたい。

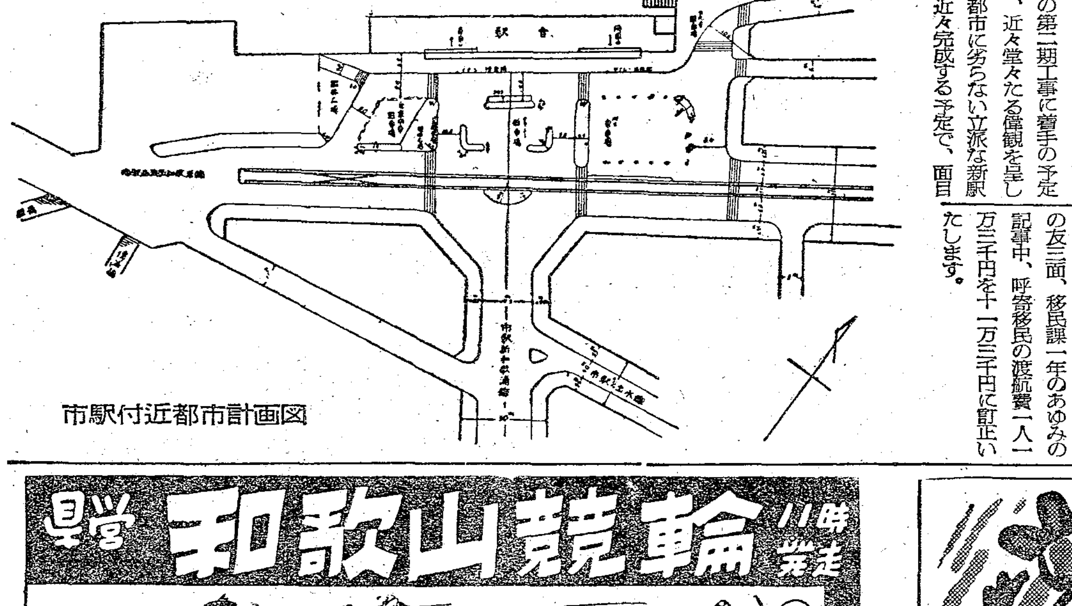
幾ら人類のためだ平和のためだと口先ばかりで論じた処でそれは駄目。理想に到達しようと念ずる者は先ず自家の足許を固め、独りで立ち独りで歩ける国になり民族になることが先決問題だ。日本人は国は失ったが、精神までは失っていないぞということをこの昭和二十九年を期して世界に示そうではないか。私はこの事を年頭に当って特に県下二十万の青年諸君に懇望する。（県人事委員長）

完成近い北の玄関
市駅付近、都市計画で面目一新

和歌山市駅は市の玄関口であり観光和歌山の咽喉部ともいうべき主要駅で、日常貨客ならびに観光客の利用の最も著しき位置にあります。県では、南海電鉄の市駅改良工事と相俟って、復興計画の一環として駅前整理計画を樹立し近代的な都市にふさわしい美観と能率的なものとして、幹線街路の配線についても循環街路として市駅を起点に「市駅中之島線」「市駅西浜新和歌浦線」中央幹線として「市駅新和歌浦線」を配し、駅前には広場約七、〇〇〇平方米を設置してタクシー、乗合自動車、自家用車等の発着ならびに駐車場とする。ほかに団体広場も設けて交通の整備と駅前の美観とを加味し観光和歌山の面目を一新した大和歌山市の玄関口となすべく着々事業を進めている現況である。一方南海電鉄においても戦後、市駅綜合計画の実施に伴い近代的な市駅とすべく改良工事に着手、二十六年十月第一期工事として構内拡築をまた、二十七年十二月には駅舎の一部中央二階建とした延六百八十六坪の鉄筋コンクリート造の建築に着手し、駅前広場計画と調和した近代的な駅舎が殆んど竣工し昨年末には一部開設の域に達した。

更に続いて和歌山港と直結する臨港線の施設工事および構内引込線拡充の第二期工事に着手の予定であり、近々堂々たる偉観を呈して他の都市に劣らない立派な新駅として近々完成する予定で、面目を新たに発足する日も目前に迫っている。





市駅付近都市計画図

訂正　十二月十五日発行県民の友三面、移民課一年のあゆみの記事中、呼寄移民の渡航費一人一万三千円を十一万三千円に訂正いたします。

県営 和歌山競輪 11時発走
1月 30土 31日 2月 1月 2火 3水 4木

県営 紀三井寺競馬 11時発馬
1月 23土 24日 25月 26火 27水 28木